

会社概要

Company Profile

社名	プライムアースEVエナジー株式会社
設立	1996年(平成8年)12月11日
資本金	200億円 資本比率: トヨタ自動車(株) 80.5% パナソニック(株) 19.5%
事業内容	ハイブリッド自動車用/電気自動車用 ニッケル水素蓄電池・リチウムイオン蓄電池、 及びバッテリーマネジメントシステムの開発・製造・販売
所在地	静岡県湖西市(本社/大森・境宿工場) 宮城県大和町(宮城工場)

所在地



本社/大森工場



■ 所在地: 〒431-0422 静岡県湖西市岡崎20番地
■ 操業開始: 2007年2月 ■ 総面積: 168,900m²

関連会社



中国江蘇省常熟市

●科力美オートモーティブバッテリー有限公司

中国語名: 科力美汽車動力電池有限公司
英語名: CORLIM PEVE AUTOMOTIVE BATTERY CO.,LTD.
(略称: CPAB)

所在地: 中国江蘇省常熟市 常熟高新技术产业開発区
資本比率: プライムアースEVエナジー株式会社: 41%
湖南科力遠新能源股份有限公司: 40%
常熟新中源創業投資有限公司: 10%
トヨタ自動車(中国)投資有限公司(TMCI): 5%
豊田通商株式会社: 4%

●新中源トヨタエナジーシステム有限公司

中国語名: 新中源豊田汽車能源系統有限公司
英語名: SINOZY TOYOTA AUTOMOTIVE ENERGY SYSTEM CO.,LTD.
(略称: STAES)

所在地: 中国江蘇省常熟市 常熟高新技术产业開発区
資本比率: 常熟新中源創業投資有限公司: 50%
トヨタ自動車株式会社: 35%
プライムアースEVエナジー株式会社: 10%
トヨタ自動車(中国)投資有限公司(TMCI): 5%



境宿工場



■ 所在地: 〒431-0452 静岡県湖西市境宿555番地
■ 操業開始: 1996年12月 ■ 総面積: 37,800m²



宮城工場



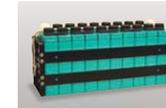
■ 所在地: 〒981-3409 宮城県黒川郡大和町流通平1番地
■ 操業開始: 2010年1月 ■ 総面積: 248,300m²

会社沿革と製品紹介

Historical Events

- 1996年 12月 ■ パナソニックEVエナジー(株)設立
- 1997年 1月 ■ 電気自動車用ニッケル水素バッテリーEV-95の開発・量産開始
電池ECU及び検出ユニットの開発・量産開始
- 12月 ■ 円筒形ニッケル水素バッテリーバック開発
- 2000年 5月 ■ ハイブリッド自動車用樹脂ケース角形ニッケル水素バッテリーの開発・量産開始(NP1.0)
ハイブリッド自動車用電池ECUの開発・量産開始
- 2003年 7月 ■ ハイブリッド自動車用改良型樹脂ケース角形ニッケル水素バッテリーの開発・量産開始(NP2.0)
- 2005年 2月 ■ ハイブリッド自動車用金属ケース角形ニッケル水素バッテリーの開発・量産開始(NP2.5)
- 2006年 11月 ■ 累計生産台数100万台(車両台数ベース)突破
- 2008年 2月 ■ 大森工場 事務・技術棟完成、本社移転
- 2009年 9月 ■ ハイブリッド自動車用角形リチウムイオンバッテリー量産開始(Li1.0)
- 2010年 1月 ■ 宮城工場生産開始
- 6月 ■ プライムアースEVエナジー(株)へ社名変更
- 2011年 1月 ■ ハイブリッド自動車用角形リチウムイオンバッテリー本格量産開始
- 2012年 9月 ■ 累計生産台数500万台(車両台数ベース)突破
- 2013年 11月 ■ 中国江蘇省常熟市に新中源トヨタエナジーシステム有限公司(STAES)設立[電池パック製造]
- 12月 ■ 宮城工場累計生産台数100万台(車両台数ベース)突破
- 2014年 8月 ■ 中国江蘇省常熟市に科力美オートモーティブバッテリー有限公司(CPAB)設立[電池セル/モジュール製造]
- 12月 ■ 真宝工場(愛知県豊田市)での生産終了(Li1.0)
- 2015年 4月 ■ 宮城第2工場生産開始
- 7月 ■ ハイブリッド自動車用次世代リチウムイオンバッテリー量産開始(Li2.0)
- 10月 ■ 宮城第3工場生産開始
- 2016年 8月 ■ 累計生産台数1,000万台(車両台数ベース)突破
- 12月 ■ 会社設立20周年
CPAB(中国)での車載用ニッケル水素電池の量産開始
- 2018年 3月 ■ 湖西地区での用地取得を前提とした湖西市ほかとの協定書を締結
- 2019年 9月 ■ 累計生産台数1,500万台(車両台数ベース)突破

EV-95



●バッテリーマネジメントシステム



■ NP2.0 (改良を量めた"Hyper-Prime Nickel")



■ NP2.5



■ Li2.0



主要搭載車種

■ トヨタ ■ レクサス ■ その他

※市場展開は海外のみの場合あり

コンパクト	■ TOYOTA AQUA ■ TOYOTA COROLLA SPORT ■ TOYOTA YARIS
ミニバン	■ TOYOTA ALPHARD ■ TOYOTA VELLFIRE ■ TOYOTA VOXY ■ TOYOTA NOAH ■ TOYOTA ESQUIRE ■ TOYOTA SIENTA
セダン	■ TOYOTA PRIUS ■ TOYOTA CAMRY ■ TOYOTA CROWN ■ TOYOTA CENTURY ■ TOYOTA COROLLA ■ TOYOTA AVALON ■ TOYOTA LEVIN ■ LEXUS LS500h ■ LEXUS GS450h ■ LEXUS GS300h ■ LEXUS ES300h ■ LEXUS IS300h
クーペ	■ LEXUS LC500h ■ LEXUS RC300h
ワゴン	■ TOYOTA PRIUSα ■ TOYOTA COROLLA Touring ■ TOYOTA SUCCEED ■ TOYOTA PROBOX ■ LEXUS CT200h
SUV	■ TOYOTA C-HR ■ TOYOTA HARRIER ■ TOYOTA RAV4 ■ TOYOTA HIGH LANDER ■ LEXUS RX450h ■ LEXUS NX300h ■ LEXUS UX250h
トラック	■ TOYOTA DYNA CARGO ■ TOYOTA TOYQACE CARGO ■ HINO DUTRO
大型バス	■ HINO SELEGA ■ HINO Blue Ribbon ■ Allison Transmission(アリソントランスミッション)
FCV	■ TOYOTA MIRAI(駆動用バッテリー) ■ TOYOTA SORA(駆動用バッテリー)



次なる舞台へ

品質に妥協を許さぬものづくりと、徹底した試験・評価から、揺るぎない信頼性を確保



電池材料の開発から、バッテリーパックの設計・評価・生産まで車載用電池のトータルシステムの提供が可能です

NiMH (ニッケル水素バッテリー)

ニッケル水素バッテリーは入出力特性に優れ、高い信頼性を誇ります



次世代NiMH開発
グローバル展開
リビルド技術開発

LiB (リチウムイオンバッテリー)

リチウムイオンバッテリーはコンパクトで高容量な電源ソリューションです



高容量型LiB生産
量産体制拡大

外販・受託

これまでに蓄積した技術・開発・製造・評価・試験のノウハウをベースに、新たな用途・顧客のニーズに対応します



多様なバッテリー評価・試験を一拠点で実施可能
電池パック受託設計
車載用以外の電池用途への対応/展開

更なる磨きをかける

世界中のメーカーが環境対応車に参入する中、主力製品であるNiMHの更なる進化・信頼と、中国生産をはじめとする、グローバル化にも対応し、広く世界に提供します

時代の要望に応える

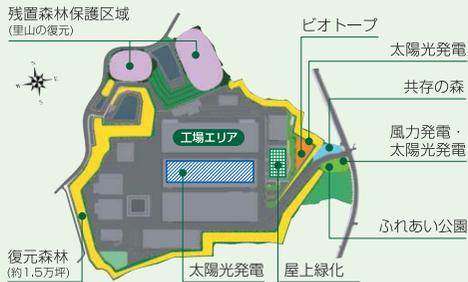
時代が必要とする次世代の高容量・高性能のLiB電源ソリューションを提供。大森工場に続き、宮城工場に新工場建屋建設を進め、LiBの生産拡大を図ります

新たな市場を創造する

PEVEのバッテリー評価・設計のノウハウと新たな顧客・ビジネスとのマッチングを具現化します

大森工場 自然環境保全計画

自然環境復元に取り組み、自然エネルギーの利用・資源の再利用に努めています。



共存の森

当社の創業10周年に、地域環境との共存を祈念し工場の入口に「共存の森」と名付けた一角をつくりました。その共存の森では、従業員が自然環境保護の大切さを認識しながら、一本一本植樹を行いました。

ふれあい公園

工場新設に伴う緑地整備の一環として、地域の方々が自由に集うことができる憩いの場を提供したいという考えから造られました。

ビオトープ

この地域にもともと生息していた希少な生物を保護するために、ビオトープを整備しました。また、造成前にこの地域にあった樹林の苗を植えることで元の生態系に近い環境を創り出せるように配慮いたしました。

風力発電・太陽光発電

自然エネルギーを利用して屋外照明及びビオトープの循環ポンプの運転に活用しています。

郷土の偉人 豊田佐吉と夢の電池

トヨタグループの創業者である豊田佐吉翁(1867～1930)は、当社本社所在地である湖西市のご出身です。豊田佐吉翁の「発明私記」によれば、佐吉翁は大正14年自動車や飛行機の動力にも利用できる蓄電池の発明奨励のために、帝国発明協会に懸賞金として、100万円の寄付を申し込まれたそうです。(当時の初任給:75円) その要求された電池性能と仕様は、「最高出力100馬力、36時間連続稼働ができ、重量225kg、容積280リットルをこえず工業的に利用できる」というものでした。残念ながら、その当時は該当する蓄電池の発明は実現しなかったようです。しかし、約1世紀後の現在、佐吉翁誕生のこの湖西市で、トヨタ自動車の子会社として当社が

ハイブリッド車用電池の開発・製造を行っている事は、佐吉翁の当時の思いをいかにばかりかでも実現させたのではないかと思います。佐吉翁生誕から150年。遙か以前に電池が時代の動かしという未来を見据えていた佐吉翁の熱い夢に思いをはせ、当社も未来に向かって大きな目標を掲げ一層果敢に取り組んでまいります。

